

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

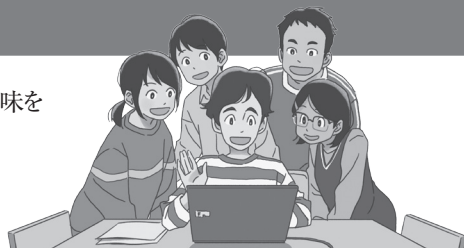
受理番号	学校	教科	種目	学年
104-174	小学校	外国語	英語	6
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
9 開隆堂	英語 611 英語 612	Junior Sunshine 6 Junior Sunshine 6 Word Book		

1 編修の基本方針

情報通信技術の発展や新型コロナウイルスの感染拡大などに伴い、生活様式や社会情勢は絶えず変化を続け、将来を予測することが難しい時代に突入しています。また、気候変動やエネルギー問題の深刻化などにより、個々人が成長することで社会の発展を目指すこれまでの常識や価値観が変容し、人々が協力し合って持続可能な社会を実現することが求められるようになりました。さらに、我が国では人口減少や少子高齢化など、世代や地域を超えて議論し、対策すべき課題が山積しています。子どもたちには、先行きが不透明な社会をたくましく生き抜く力を育成することが求められています。このような社会的な要請に応えるために、本書では、教育基本法の目的及び理念を踏まえ、**自他を大切にする心を育み、豊かな人間関係を築き、主体的に学習する意欲を高める**ことを編修の基本方針としました。

① 自他を大切にする心を育む。

子どもたちが自分と異なる考えや、その背景にある文化などに興味をもつことができるよう、多様性に富んだキャラクターを登場させ、異文化を紹介する映像等を豊富に用意しました。多様な価値観や考え方を知ることは、自己肯定感の育成にもつながります。



② 豊かな人間関係を築く。

コミュニケーションを図る上では、単に自分の考えや気持ちなどを伝えるだけでなく、目的や場面、状況等に応じ、相手にわかりやすいようにことばを選ぶことや、相手の考えや気持ちなどを受け止め反応をすることも大切です。そこで、実際に英語を使って互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動を充実させるとともに、自分のことを伝える語句を選ぶための絵辞典 **Word Book** を別冊にしました。また、対話を続ける表現例も紹介しています。相手と関わる楽しさを味わうことで、豊かな人間関係を築く力を向上させることができます。



③ 主体的に学習する意欲を高める。

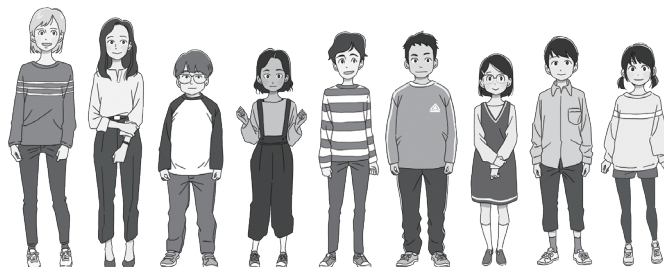
主体的に外国語を学び続ける意欲を育むためには、自分自身で成長や課題を確かめる力の育成が不可欠です。この教科書では、児童が見通しをもって学習に取り組み、自らの学習状況を振り返ることができるようにするための工夫を随所に盛り込みました。誰一人取り残すことのない学びの実現のために、つまずきやすい文字学習をスモールステップで丁寧に行うことができるようにも配慮しています。



① 自他を大切にする心を育む。

1 多様性をテーマに個性豊かな登場人物を設定。場面に物語性をもたせました。

第5、6学年の2年間を通して、単元冒頭の **Let's Watch and Think** や **Let's Listen** などと同じキャラクターを登場させました。映像や音声を通じて個性豊かな登場人物が伝え合い、認め合う様子に接することで、児童は自ずとコミュニケーションの楽しさや重要性、多様性を尊重することの大切さを感じることができるはずです。また、児童が身近に感じられるキャラクターは、共に学習し、成長するガイドとしての役割を果たします。登場人物が語り合う姿は、コミュニケーションを図る目的や場面、状況などを把握する手がかりにもなります。

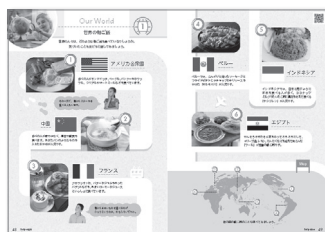


2 世界各国の文化や生活などを紹介するコンテンツを充実させました。

各単元の **Let's Watch and Think** や **Let's Listen** などにおいて、海外の同世代の子どもたちが英語で自分や生活のことを伝える映像や音声を豊富に取り入れました。また、単元末の **Around the World** で、学習テーマに即し、単元の言語材料を用いて海外の文化や生活習慣などを映像で紹介しています。さらに、年3回の特設ページ **Our World** では、教科書の学習内容から発展させた異文化情報を掲載しています。異なる文化を知することは、外国語を学ぶ意欲を高めるとともに、日頃はあまり意識することのない自分についての気づきを促したり、多様な価値観や常識を認めたりすることにつながります。第6学年においては、その発展として、単元末の **Story Time** に、キャラクターが世界各地をめぐり、SDGsについて考える端緒となる物語を掲載しました。



↑ [Lesson5]
Let's Watch and Think (p.72)



↑ Our World 1 (pp.48-49)



↑ Around the World (p.78)



Story Time (p.95) →

② 豊かな人間関係を築く。

1 実際に英語で考えや気持ちを伝え合う言語活動を充実させました。

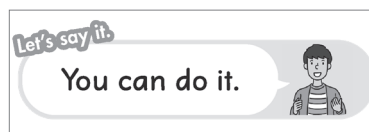
小学校学習指導要領に示された外国語の目標を踏まえ、「英語を使いながら学ぶ」学習を実現するために、実際に英語を使って考えや気持ちを伝え合う言語活動を充実させました。各単元においては、単元ゴールの言語活動 **Activity 3** に向け、第1時の導入 **Let's Watch and Think** で言語材料に出会い、指導者のはたらきかけによってそれらを実際に使ってやり取りを行う **Follow Up** を設定しました。また、毎時に言語活動 **Let's Try, Activity** を設定。相手意識、目的意識をもってコミュニケーション活動を行うことができるよう、場面設定を工夫しました。共に学び合い、伝え合う学習を通して、相手の立場に立って考え、豊かな人間関係を築く力を育成することができます。



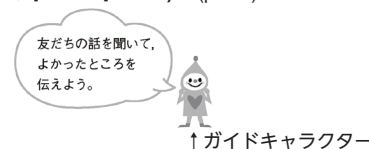
↑ [Lesson 7] (p.86-93)

2 ことばを使って相手と伝え合う力を育むしかけを随所に盛り込みました。

豊かなコミュニケーションを図るには、「よい聞き手になる」ことも大切です。そこで、各単元の **Activity 2** には、学習内容に合わせ、相手の話を聞いて「褒める」「質問する」「励ます」表現例を紹介するコーナー **Let's say it.** を設定しました。中学年の外国語活動で重視されている Smile, Eye Contact, Clear Voice から一歩踏み出し、ことばを使って伝え合う力を育てることに力点を置きました。また、随所にガイドキャラクターを配置し、児童が伝え合う目的や内容により意識を向けられるようにしました。



↑ [Lesson 8] Let's say it. (p.101)



↑ ガイドキャラクター

3 自分の考えや気持ちを伝えることばを選ぶため、別冊絵辞典 Word Book を用意しました。

本格的な英語学習を始めたばかりの児童にとって、自分の考えや気持ちを伝える語句を選ぶことは容易ではありません。別冊の絵辞典 **Word Book** は、カテゴリー別に語句をまとめ、絵を手がかりに、「知りたい」「言いたい」ことばをすぐに探し出せるようにしました。音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を書き写すときの手本としても使えるよう、英語は4線上に示しています。また、二次元コードから発音を確かめることができます。

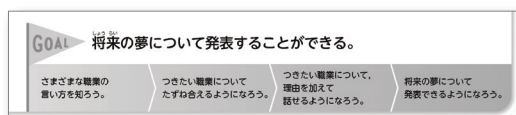


検索しやすいインデックス付き。
調べた英語を書き込めます。

③ 主体的に学習する意欲を高める。

1 見通しをもって学習に取り組むことができるように紙面を構成しました。

各単元冒頭の見開きに、単元で身につけたい力を **GOAL** として示し、その達成に向けためあても併記しました。また、すべての単元を8時間配当とし、単元ゴールの言語活動に向けた学習の流れを明確化。児童にとって学びやすく、指導者にとっては教えやすい授業を実現します。



2 成長や課題を確かめ、適切に評価することができるようにしました。

学習指導要領に対応した学習評価を、計画的に、できるだけ準備の負担なく実施するため、2年間で5領域3観点をバランスよく見取るための評価計画を立て、単元ごとの評価規準を作成し、その領域と観点を紙面に明示しました。「聞くこと」「読むこと」「書くこと」については、児童が教科書に書き込む活動を設定し、記述分析による評価を行いやすくしています。また、巻末 **CAN-DO チェック** を併用すれば、評価規準に対応した自己評価を行い、児童が自分の成長や課題を確かめることができます。さらに、年3回の **Let's Check** のペーパーテストとパフォーマンス評価で総括的な評価も行えます。



↑ CAN-DO チェック



↑ Let's Check ①

3 つまづきやすい文字の学習をスモールステップで丁寧に行います。

「文字の学習が始まると児童の学習意欲が低下する」との懸念の声が聞かれることを鑑み、音声で慣れ親しんだ語句や表現を文字とスムーズに結びつける活動 **Let's Listen and Read** を設定しました。また、第6学年では各単元2～4回、5分程度の帯活動 **Sounds and Letters** と単元末の **Sound Box** のコーナーで、英語の文字と音との関連を1年間かけてじっくり楽しく学習できます。

2 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
全体	①第6学年では、自他の理解を深め、我が国や地域を愛する態度を養うとともに、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことに重点を置き、主な題材として自分や外国の生活などを選定しました。なお、題材の選定に当たっては、個人の尊厳を重んじ、多様な生活習慣や家庭のあり方などに配慮しました。(第三号、第五号) ②各単元において、実際に英語を使用して互いの考えや気持ちなどを伝え合う言語活動を充実させ、個人の価値を尊重し、創造性を培うことができるようにしました。コミュニケーション活動の充実には、豊かな情操と道徳心の育成や自他の敬愛と協力を重んじる態度の涵養につながります。(第一号、第二号) ③各活動の設定に当たっては、個人の価値を尊重し、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、個別最適な学びと協同的な学びの充実を図るために、ICT端末を活用した学習を展開することができるようになりました。(第二号) ④指導と評価の一体化を図り、幅広い知識と教養を着実に身につけることができるよう、記録に残す評価を行う場面を明示し、意図的、計画的な指導に生かすことができるようにするとともに、単元を系統的、発展的に配列しました。言語活動の設定及び言語材料の精選においては、学習したことを実生活、実社会に生かすことができるよう、他教科等に加え、キャリア教育やSDGsなどの今日的な課題との関連に配慮しました。(第一号、第三号、第四号) ⑤各 Lesson の Let's Watch and Think, Around the World 及び Our World において、外国の伝統や文化、生活習慣などを紹介し、多様な価値観に触れ、他者や他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができます。(第五号)	①全巻、各 Lesson の Story Time ②各 Lesson の Follow Up, Let's Try, Activity ③各 Lesson の Let's Try, Activity ④各 Lesson 及び Let's Check ①～③ (pp.44-47, pp.80-83, pp.106-109) ⑤各 Lesson の Let's Watch and Think 2～5 及び Around the World, Our World ①～③ (pp.48-49, pp.84-85, pp.110-111)
口絵	英語を学習することへの興味・関心を高め、英語を使ってコミュニケーションを図り、国際社会に参画することの大切さを伝えています。(第五号)	表 2-p.1
6年 で学習すること、本書の使い方、もくじ	学習への興味・関心を高めるとともに、本書の使い方や各単元のゴールを知ることにより、見通しをもって主体的に学習に取り組む態度を養います。(第三号)	pp.2-7
5年 で学習したこと、授業で使える 20 の表現	既習表現を振り返るとともに、コミュニケーションをより豊かにする表現を確かめ、相手意識をもって交流し、豊かな情操と道徳心を培います。(第一号、第三号)	pp.8-11
Lesson 1 This is me.	自己紹介を通して他者との共通点や相違点を知り、豊かな情操や道徳心を培い、個人の価値観を尊重する態度などを養います。(第一号、第二号)	pp.14-23
Lesson 2 Welcome to Japan.	日本の名所や名産、名物などを紹介することを通じて、伝統や文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度及び自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養います。(第四号、第五号)	pp.24-33
Lesson 3 What time do you get up?	自分の理想の日課を考えることを通して、創造性を培うとともに、道徳心を培い、健やかな身体や自主及び自律の精神を養います。(第一号、第二号)	pp.34-43
Lesson 4 My Summer Vation	夏休みの思い出を伝え合うことを通して、個人の価値を尊重することや自他の敬愛と協力を重んじる態度を養います。(第二号、第三号)	pp.50-59
Lesson 5 Where do you want to go?	行きたい国やそこでできることを伝え合うことを通して、創造性及び相手意識をもって伝える豊かな情操を培い、他国を尊重する態度を養います。(第一号、第二号、第五号)	pp.60-69
Lesson 6 My Best Memory	学校生活の思い出を紹介することを通じて、創造性及び豊かな情操や道徳心を培うとともに、自他への敬愛と協力を重んじ、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養います。(第一号、第二号、第三号)	pp.70-79
Lesson 7 My Dream	キャリア教育との関連を踏まえ、将来の夢を紹介することを通じて、創造性を培うとともに、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、勤労を重んずる態度を養います。(第二号)	pp.86-95
Lesson 8 My Junior High Shool Life	中学校でがんばりたいことを紹介することを通じて、幅広い知識を身につけ、真理を求める態度や、個人の価値を尊重してその能力を伸ばそうとする精神や、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養います。(第一号、第二号、第三号)	pp.96-105
Let's Check ①～③	夏休み前、冬休み前、年度末の年3回、ペーパーテスト及びパフォーマンステストを実施し、何がどのくらいできるようになったのかを確かめ、自らの成長や課題に気づくとともに、見通しをもって主体的に学習に取り組む態度を養います。(第二号、第三号)	pp.44-47, pp.80-83, pp.106-109
Our World	海外の言語、伝統や文化などに触れ、我が国の言語や伝統、文化を再確認したり、他国を尊重する態度を養います。(第五号)	pp.48-49, pp.84-85, pp.110-111
CAN-DO チェック Sugoroku	各単元末において、「CAN-DO チェック」を用いて評価規準に照らし合わせて自己評価を行い、自らの成長や課題に気づき、見通しをもって主体的に学習に取り組む態度を養います。Sugoroku では、楽しみながら振り返りを行うことができます。(第二号、第三号)	p.128- 折込ページ
別冊 Word Book	語句や表現の練習や、自分の考えや気持ちなどを伝えることばを取捨選択する際に活用し、幅広い知識や教養を身につけ、創造力を培います。(第二号)	別冊 Word Book

3 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

【1】すべての児童にとってわかりやすく、学習しやすい紙面構成

①すべての児童の学ぶ機会を保証するために、特別支援教育の専門家の校閲のもと、文字の読みやすさ、情報の読み取りやすさ、カラーユニバーサルデザインなどに配慮し、紙面を構成しました。

- ・本文の日本語にはユニバーサルデザインフォントを使用しました。
- ・形を捉えやすく、なぞり書きや書く手本に適した視認性の高い欧文フォント（※）を開発しました。



※視認性の高い欧文フォント

- ・視覚的な刺激を抑えるために、落ち着いた配色にしました。
- ・文字学習の初期段階であることを踏まえ、文字を大きく配置し、情報を読み取りやすいゆとりある紙面を実現するため、大判（A4判）にしました。
- ・鉛筆で書きやすく、消しやすい用紙を使用しています。

- ②児童が見通しをもって学習に取り組むことができるよう、すべての単元を8時間配当とし、各単元の学習の流れを明確にしました。各単元の冒頭見開きページにも、単元のゴールとともにめあてを掲載しています。また、音声による活動から始め、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を文字へ結びつけ、読んだり書いたりする活動につなげることで、音声から文字への学習を円滑に接続できるようにしました。児童が着実に知識を身につけ、創造性を培うことができるよう、適所にガイドキャラクターを配置し、学習をサポートします。
- ③小学校学習指導要領に示された5つの領域を踏まえ、活動の内容や目的に合わせたアイコンを配置しました。文字学習の初期段階で、英語で示された活動名をまだ読むことができない高学年の児童も、ひと目で活動内容を把握することができます。

【2】今日的な課題及び新しい時代の学びへの対応

- ①教科担任制や複数担任制の導入など多様化する指導形態やカリキュラム・マネジメントの推進を踏まえ、各単元の題材やその配列、言語材料の選定においては、他教科等や今日的な課題との関連を考慮し、またその関連を教科書紙面に明示しました。教科横断的な視点で児童の実態に応じた授業を展開できるようにしています。また、教員の「働き方改革」を踏まえ、教材準備の負担を軽減するため、文字に関する学習や書く活動を紙面上で行うことができるようにしました。このことにより、教科書を児童一人ひとりの学習状況や成長を見取るポートフォリオとして活用できます。
- ②小学校学習指導要領に対応した学習評価を負担なく、かつ確実に実施することができるよう、単元ごとに評価規準を作成し、記録に残す評価を行う領域と観点を教科書紙面に明示しました。また、教師が評価に過度な労力が割かれることのないよう、評価場面では児童が教科書に学習状況を記録できるようにしています。さらに年3回のLet's Checkでペーパーテスト、パフォーマンステストを実施し、総合的な評価もできるようにしました。2年間を見通し、バランスの取れた5領域3観点の評価を行うことができます。
- ③学校のICT化、一人一台端末などの学習環境の変化や、一斉授業、個別学習など多様な学びのスタイルに対応するために、音声や映像などのデジタルコンテンツを充実しました。これらのコンテンツは、紙面上の二次元コードで、いつでも、どこでも利用することができます。

【3】小学校、中学校の学年間、校種間の円滑な接続への配慮

- ①言語材料は、文部科学省発行の中学年向け外国語活動教材「Let's Try!」で学習した語句や表現に加え、他教科等や日常生活との関連を踏まえるとともに、中学校検定教科書やCEFR、CEFR-Jなどに照らし合わせて精選しました。また、既習の語句や表現を単元や学年を超えて使う活動を充実させるために、配列や題材に創意工夫を凝らすとともに、各単元においてSmall Talkの題材及び言語材料の例を具体的に示しました。
- ②別冊Word Bookには、小学校及び中学校でよく使用される語句に★マークを付けました。指導計画を立てる場や授業で用いる言語材料を設定する場などで、児童にわかりやすく使いやすいものを選ぶための目安として役立てていただけます。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-174	小学校	外国語	英語	6
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
9 開隆堂	英語 611 英語 612	Junior Sunshine 6 Junior Sunshine 6 Word Book		

1 編修上特に意を用いた点や特色

1 見通しをもって取り組み, 成長を確かめ, 学ぶ意欲を高める構成。

外国語学習への興味・関心を高め, 見通しをもって学習に取り組むことができます。

学習指導要領では, 「何を学ぶか」とともに, 学んだことを生かして「何ができるようになるか」が重視され, 育成を目指す資質・能力が「知識及び技能」, 「思考力・判断力・表現力など」, 「学びに向かう力, 人間性など」の3つの柱で示されました。これをもとに, 各学校では, 主体的・対話的で深い学びを通してこれらの資質・能力を育成することが求められています。上記の趣旨のもと, 児童が日常的に使用しない言語である英語でコミュニケーションを図る基盤となる資質・能力を育成する外国語科の特質を踏まえ, 本書は, 児童が見通しをもって学習に取り組めるようにすること, 児童が自分の成長や課題を確かめられるようにすることを重視しました。

① 年度のはじめ

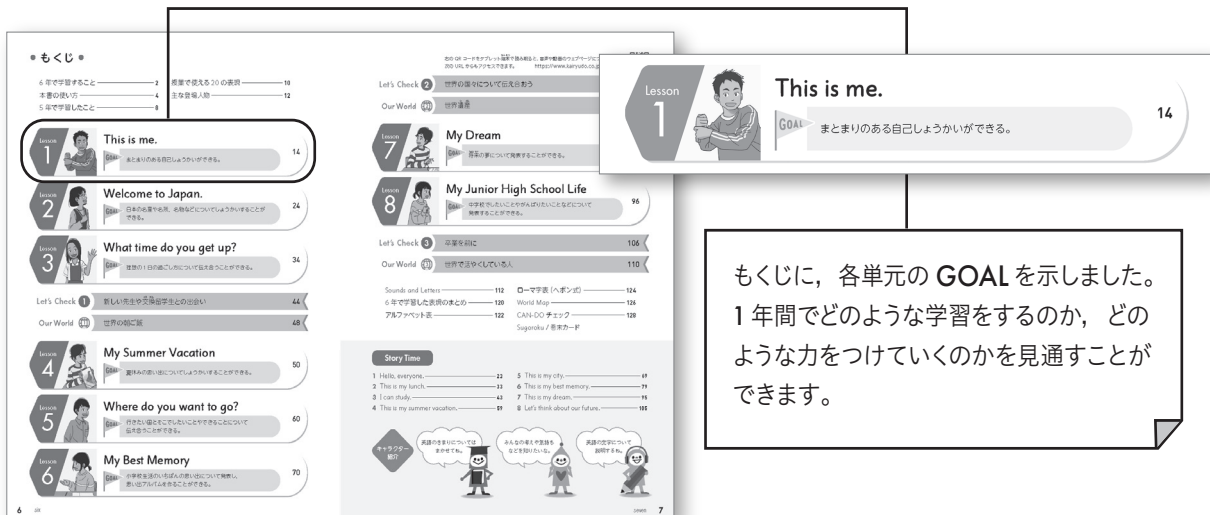


[表2-p.1]



[pp.2-3]

写真を見ながら, 英語を学習する意義や第6学年の学習内容について考えたり, 話し合ったりして, 学習意欲を高めます。



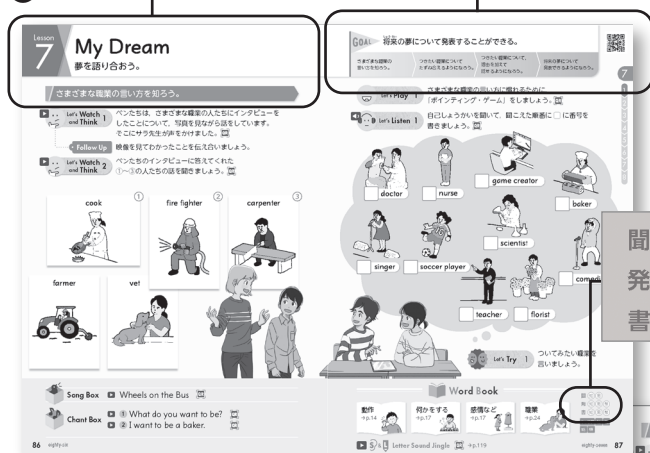
[pp.6-7]

もくじに, 各単元の GOAL を示しました。1年間でのどのような学習をするのか, どのような力をつけていくのかを見通すことができます。

児童が自らの成長を確かめ、教師が計画的で適切な学習評価を行うことができます。

今次の学習指導要領では、児童の学習意欲の向上や教師の指導改善を図るために、指導と評価の一体化が重視されました。そこで、評価の負担をできるだけ少なく、適切に行うことができる構成にしました。

② 各単元



[pp.86-87]

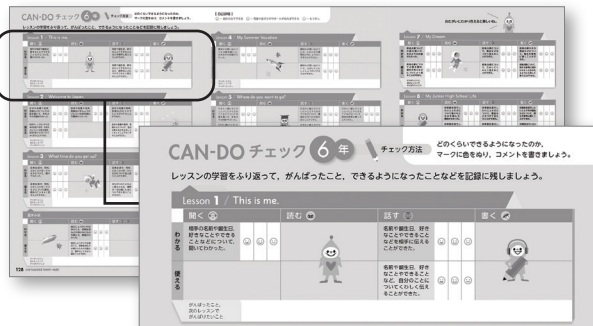
各単元の冒頭見開きに、単元の GOAL と活動目標を表示。見開きごとのめあても併記し、見通しをもちやすくしています。

聞知思
発知思
書知思

バランスの取れた 5 領域 3 観点の評価のために、全単元の評価規準を作成。その領域と観点を紙面に示しました。

記録に残す評価を行う活動には、その領域と観点を表示。「聞くこと」「読むこと」「書くこと」については解答を教科書に書き込めるようにし、記述分析による評価ができるようにしました。

[pp.90-91]



[p.128- 折込ページ]

単元末には、巻末 CAN-DO チェックで評価規準に照らし合わせた自己評価ができます。児童が自分の成長や課題を確かめることができるので、主体的に学習する態度の涵養やその見取りに役立ちます。

③ 年 3 回（夏休み前、冬休み前、学年末）



[pp.44-47]

年 3 回の Let's Check で、ペーパーテスト、パフォーマンス評価による総括的な評価を行うことができます。児童が学習を振り返りやすくするため、日常生活を舞台とした物語を設定しました。

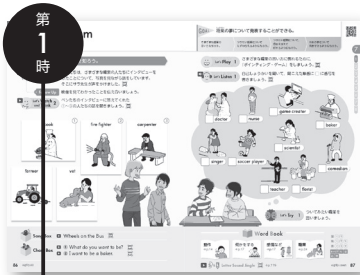
2 実際に英語を使いながら学ぶ言語活動の充実。

すべての児童が伝え合うことを楽しみながらコミュニケーションを積み重ねていくために。

第3, 4学年の外国語活動で、児童は外国語によるコミュニケーションを図る素地を築きます。第5学年から始まる外国語科の目標は、その素地を耕してコミュニケーションを図る基盤を育成し、中学校につなぐことです。児童の学びを円滑に接続し、かつより豊かにするために、言語活動のいっそうの充実を図りました。言語活動の目的や場面、状況などの設定に当たっては、カリキュラム・マネジメントの観点から、他教科等や日常生活との関連を重視するとともに、多様化する生活スタイルや人権などに配慮しています。また、ICT環境の整備に伴い、一人一台端末環境においてより効果的、効率的な学習が展開できるようにしました。

[各単元の基本構成]  : 言語活動

以下の活動に加え、Small Talkで既習の語句や表現を使った言語活動も行います。



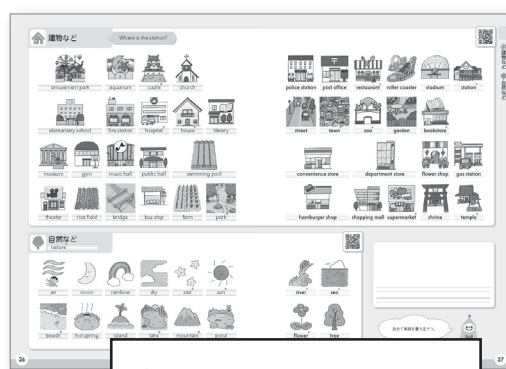
- ① **Let's Watch and Think** で単元の言語材料に出会うとともに、単元ゴールに向けて、何を、どのように伝える力を身につけていくのかをつかみます。
- ② **Follow Up** では、指導者のはたらきかけによって、実際に出合ったばかりの英語を使ってやり取りを行います。
- ③ **Let's Play** やチャンツ、歌などを通して、語句や表現に慣れ親しみます。
- ④ **Let's Listen** では、語句や表現を聞き取ります。
- ⑤ 必要に応じて語句や表現に慣れ親しむ活動に取り組みながら、学習した英語を使って自分のことを言ってみる活動 **Let's Try** を行います。

- ① **Let's Watch and Think** で再度言語材料に出会い直し、指導者のはたらきかけによってやり取りを行います。学習内容により、**Let's Listen** でそれまで学習した語句や表現を聞き取る活動を行うこともあります。
- ② **Let's Play** やチャンツ、歌などを通して、言語材料に慣れ親しみます。
- ③ **Let's Listen** で語句や表現を聞き取ります。
- ④ 必要に応じて語句や表現に慣れ親しむ活動に取り組みながら、自分のことを相手に伝えてみる活動 (**Let's Try**)、場面設定に応じたコミュニケーション活動 (**Activity**) を行います。
- ⑤ **Let's Listen and Read** で、音声で十分に慣れ親しんだ英語と文字を結びつけていきます。
- ⑥ **Let's Write** で、音声で十分慣れ親しんだ英語を使って、自分のことを書いて伝える活動を行います。

- ① **Let's Read** で、これまで音声で十分に慣れ親しんできた語句や表現をよむ活動を行います。
- ② 必要に応じてチャンツ、歌などを通して言語材料に慣れ親しむ活動などに取り組みます。
- ③ **Let's Try** では、単元最後の **Activity** に向け、相手に伝わりやすいように内容を整理し、工夫して伝え合う活動を行います。
- ④ 単元ゴールの言語活動 **Activity** を行います。
- ⑤ **Let's Write** で、音声で十分慣れ親しんだ英語を使って自分のことを書いて伝える活動を行います。
- ⑥ **Around the World** では、単元の言語材料で海外の文化や生活を紹介する映像を視聴し、**Story Time** では、単元の言語材料を使った読み物を楽しむなど、学習したことを生かした発展的な学習を行います。

言語活動や語彙の定着をサポートするために絵辞典 Word Book を独立させ、別冊にしました。

言語活動では、目的や場面、状況などに応じて自分の考えや気持ちを相手に伝えるための英語を既習の語句や表現の中から取捨選択することが求められます。活動における児童の実態に応じて、言語材料を理解したり練習したりする学習活動も必要です。これらを総合的にサポートするために、言語材料をまとめた **Word Book** を別冊にしました。教科書及び別冊の語彙は、第 3、4 学年の外国語活動で扱われたものを含め、第 5、6 学年の 2 年間でスパイラルに繰り返し使用して定着を図るために、第 5 学年では 335 語、第 6 学年で 422 語を加えた合計 757 語としました。**Word Book** では、小中連携の観点から、中学校検定教科書や CEFR、CEFR-J などに照らし合わせて、児童生徒がよく使う語彙に★マークを付けています。



書くことの活動において手本として使えるよう、英語は 4 線上に表示。インデックス付きで語句を探しやすくしました。

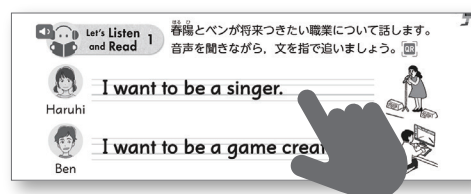
3 誰一人取り残すことのない学びを実現する活動の設定。

音声から文字への学習をスムーズに行い、5 領域の資質・能力をバランスよく育成します。

高学年の外国語科では、「聞くこと」「話すこと [やり取り]」、「話すこと [発表]」に加え、「読むこと」「書くこと」の学習も行います。そこで懸念されるのは、「書くこと」は個人差が大きく出やすいことです。だからといって書くことばかりに多くの時間が割かれてしまえば、他領域の力の育成に影響が及びます。児童の学習のつまずきを防ぎ、5 領域の資質・能力をバランスよく育成するため、以下の点に留意して 2 年間の指導計画を立案し、各単元を構成しました。

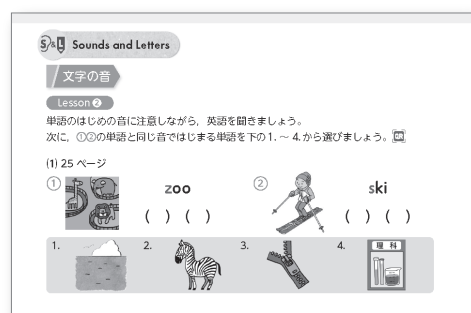
① 音声から文字の学習をスムーズにつなげる。

言語活動 **Activity** を行ったあと、音声で十分に慣れ親しんだ英語を文字と結びつける活動 **Let's Listen and Read** を設定しました。音声を聞きながら文を指で追うだけのシンプルな活動ですが、聞いたり言ったりしていたことが英語でどのように表されるのかを確認することで、音声から文字への橋渡しができます。



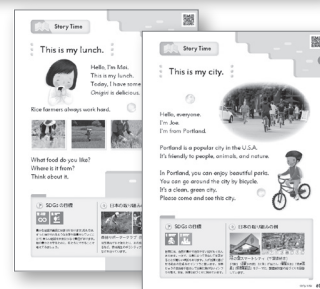
② 文字の学習をスモールステップで行う。

文字学習のための帯活動 **Sounds and Letters** を設定しました。第 6 学年では、英語の文字の音に重点を置き、ゆっくり丁寧に学習できるようにしました。本書の巻末には書き込みページを設け、教材準備の負担を軽減し、児童が学習の積み重ねや成長を確かめながら取り組むことができるようにしました。



③ 学習した言語材料を使って読む活動を充実させる。

小学校学習指導要領の「読むこと」の言語活動の例には「絵本など」が挙げられています。そこで、各単元末に、該当単元で学習した言語材料を用いた絵本的な読み物を読む活動を行う **Story Time** を設定しました。第 6 学年では、SDGs をテーマとし、コーナー独自のキャラクターが世界各地をめぐる物語を掲載しました。学習した表現を使って読む活動に取り組みながら、社会参画への意欲を高めます。



2 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時間
□絵	3(2) イ	表 2-p.1	-
5 年で学習したこと	2(1) ウ・エ	pp.8-9	-
授業で使える 20 の表現	2(1) ウ・エ	pp.10-11	-
Lesson 1 This is me.	2(1) ア・イ・ウ・エ, 2(2) ア・イ, 2(3) ①ア・イ・ウ・エ・オ, 2(3) ②ア・イ, 3(2) ア・イ・ウ・エ・オ・カ, 3(3) ア・イ	pp.14-23	8
Lesson 2 Welcome to Japan.	2(1) ア・イ・ウ・エ, 2(2) ア・イ, 2(3) ①ア・イ・ウ・エ・オ, 2(3) ②ア・イ, 3(2) ア・イ・ウ・エ・オ・カ, 3(3) ア・イ	pp.24-33	8
Lesson 3 What time do you get up?	2(1) ア・イ・ウ・エ, 2(2) ア・イ, 2(3) ①ア・イ・ウ・エ・オ, 2(3) ②ア・イ, 3(2) ア・イ・ウ・エ・オ・カ, 3(3) ア・イ	pp.34-43	8
Let's Check ①	2(1) ア・イ・ウ・エ, 2(2) ア・イ, 2(3) ①ア・イ・ウ・エ・オ	pp.44-47	2
Our World ①	3(2) イ	pp.48-49	-
Lesson 4 My Summer Vacation	2(1) ア・イ・ウ・エ, 2(2) ア・イ, 2(3) ①ア・イ・ウ・エ・オ, 2(3) ②ア・イ, 3(2) ア・イ・ウ・エ・オ・カ, 3(3) ア・イ	pp.50-59	8
Lesson 5 Where do you want to go?	2(1) ア・イ・ウ・エ, 2(2) ア・イ, 2(3) ①ア・イ・ウ・エ・オ, 2(3) ②ア・イ, 3(2) ア・イ・ウ・エ・オ・カ, 3(3) ア・イ	pp.60-69	8
Lesson 6 My Best Memory	2(1) ア・イ・ウ・エ, 2(2) ア・イ, 2(3) ①ア・イ・ウ・エ・オ, 2(3) ②ア・イ, 3(2) ア・イ・ウ・エ・オ・カ, 3(3) ア・イ	pp.70-79	8
Let's Check ②	2(1) ア・イ・ウ・エ, 2(2) ア・イ, 2(3) ①ア・イ・ウ・エ・オ	pp.80-83	2
Our World ②	3(2) イ	pp.84-85	-
Lesson 7 My Dream	2(1) ア・イ・ウ・エ, 2(2) ア・イ, 2(3) ①ア・イ・ウ・エ・オ, 2(3) ②ア・イ, 3(2) ア・イ・ウ・エ・オ・カ, 3(3) ア・イ	pp.86-95	8
Lesson 8 My Junior High School Life	2(1) ア・イ・ウ・エ, 2(2) ア・イ, 2(3) ①ア・イ・ウ・エ・オ, 2(3) ②ア・イ, 3(2) ア・イ・ウ・エ・オ・カ, 3(3) ア・イ	pp.96-105	8
Let's Check ③	2(1) ア・イ・ウ・エ, 2(2) ア・イ, 2(3) ①ア・イ・ウ・エ・オ	pp.106-109	2
Our World ③	3(2) イ	pp.110-111	-
Sugoroku	2(1) ア・エ, 2(2) ア, 2(3) ①ア・ウ・エ	折込 5-6	-
別冊 Word Book	2(1) ア・ウ	全巻	-
		合計	70